

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

新
庄
市市民が主役、市民が動く
市民が光るまちづくり

新庄市青少年育成市民会議の活動

新庄市青少年育成市民会議は、青少年関連事業への助成や啓発イベントの実施、朝のあいさつ運動、夜の街頭指導など、年間を通して活動を行っています。

ほかにも、友好都市である茨城県高萩市と児童交流事業を実施しています。新庄市青少年育成推進員の皆さんが指導者となり、7月には新庄市の小学5・6年生が1泊2日の日程で高萩へ行き、施設見学などのほか、高萩祭りへ当日練習した流し踊りで参加しました（写真）。



8月には高萩の小学6年生が新庄を訪れ、市内の児童と野外炊飯や川遊びなどの活動を一緒に行い、お互いの交流を深めることができました。また、新庄市教育の日セレモニーを教育委員会と共催で行い、当日の「だがしや楽校（がっこう）」では、かむてん人形の絵付けやわりばし鉄砲作り、石へのペインティングで参加し、大勢の子もたちで賑わいました。

今後も青少年の健全な育成につながるよう、関係機関と連携し事業を展開していきます。

金
山
町

四季 奏でる町 金山

「美しい自然 清い心の町 金山」

平成22年度「金山町青少年健全育成町民大会」が、7月16日（金）に金山町農村環境改善センターにおいて開催されました。

活動事例発表を2団体からいただき、金山中学校の現状、有屋少年番楽の活動状況を発表していただきました。中学生は最上学と称する郷土のことを調べる授業を行っていたり、有屋少年番楽でも地域の大人たちから伝統芸能を学んでいたりと地域と一体となった活動がなされていました。また、講演ではフリーアナウンサーの古池常泰氏より「いのちの大切さ」と題して、特に言葉の重要性などについてお話いただきました。

また、夏休み期間においては、町民会議主催の夜間町内パトロールが行われました。公園やコンビニなどを回り、青少年に対して大人がしっかりと見守っているというアピールができたのではないかと思います。実際に問題行動等は報告されず、全体的に青少年は落ち着いていると感じられました。今後も年末のパトロール等も行い青少年をしっかり見守っていきます。

最
上
町人にやさしい町づくり 食にやさしい
町づくり 環境にやさしい町づくり

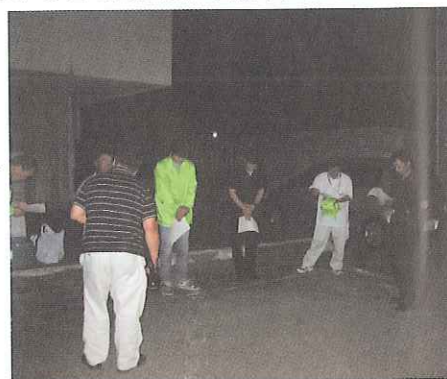
「キラリ輝く田園空間博物館の創造」

最上町青少年育成員は、広報キャラバンを中心に、一年を通して様々な活動を行っています。

毎月、第3水曜日を広報キャラバンの活動日とし、町内を巡回しています。また、ゴールデンウィークや夏休み、秋祭りの期間中に、もがみヤングすこやか会議や防犯協会、町内学校関係者と合同で町内各所を巡回し、青少年の健全育成と啓発活動を行っています。

さらに、今年は「“明るいやまがた”夏の安全県民運動」と併せて7月21日と、子ども達が夏休み期間中である8月20

日の2回、夜間のコンビニエンスストアの巡回を実施しました。最上町内にある4店舗を、午後10時から巡回しました。お店の方より青少年のコンビニエンスストアの利用状況をお聞きすると共に、子ども達の見守りをお願いして廻りました。地域の子どもは地域全体で見守っていく活動の一つとして、今後も継続していきたいと思っています。

舟
形
町

若あゆと古代ロマンの里 ふながた

若い力で地域を元気に！

高校生ボランティア「ふなっ子」の奉仕活動として、今年6月に舟形町沖の原地区を走る尾花沢・新庄道路の沖の原パーキングの清掃活動、舟形駅舎清掃を沖の原町内会の方々や町青少年育成推進員、町職員と連携して行いました。

また、9月にも舟形駅舎清掃を行いました。パーキング内や駅には、たばこの吸い殻やペットボトル、空き缶などのゴミがたくさん捨てられていました。

「ふなっ子」では、そのような状況をなんとかしようと、ゴミ捨て防止の看板を作成したところ、看板付近は効果があり、ポイ捨て防止に役立っています。そこで、今年度は「ゴミ捨て防止看板」を一枚増やし、益々、ポイ捨てがなくなるようにと作製しているところです。

また12月には、町内の高校1、2年生を対象に「推進員と語る会」を「舟形町の好きなところ・嫌いなところ」「こんな舟形町にしたい！」をテーマに開催しました。

3月には、高校を卒業する高校3年生を対象に、成人式に向けての懇談会を開催する予定です。

これからも地域との交流を通して貴重な体験を積み重ねながら、若い力で元気な町にしていきたいと思っています。

